



共通テスト受けてきました！

2022. 1. 1 富士吉田市内で撮影

1月15、16日に実施された「大学入学共通テスト」を受験してきました（決して来年度から大学生になろうということではありません）。私が西高に異動してきた16年前にふと「こんな偉そうに教壇に立って数学を教えているけど、ホントに自分は数学が解けるのか？」と自問する時がありました。それなら実際に（当時の）センター試験を受けてみよう、と思いそこから受け続けて今回で15回目の受験となりました（自分の高校時代を含めれば16回目の受験です）。毎年独特の緊張感があって受験生の気持ちを忘れないためにも大事な取り組みかなあと考えています。

私みたいな「おじさん」が試験会場に入ると受験生の皆さんは違和感いっぱいの目で見えます。斜め前に座っていた受験生が「二度見」ならぬ「三度見」をしてきた時もありました。そんな冷ややかな視線にも動じず、初日は英語リーディングとリスニング、2日目は数学ⅠAと数学ⅡBを受けました。

毎年受験していると言っても、英語は高校時代から大の苦手だったのでちゃんとした取り組みなどこれまでしたことがありません。昨年の共通テストでのリーディングは30点でした（こんな成績ではどこの大学も入れてくれません）。今年は1年次生と一緒に英単語の勉強を9月から頑張ったので、53点まで点数を伸ばすことが出来ました。そこで感じたことは「**やっぱり継続することが大事**」ということですね。あれだけ嫌だった英語も毎日少しずつでも取り組むことによって、今では英語に向き合うことが億劫ではなくなってきています。それでも長文を読む習慣が不足しているので、読む時間が足りなかったことが反省点です。来年に向けて改善していきます。本職の数学はと言うと、共通テスト実施2年目で全国平均点が過去にないほど低いと予想されている影響を大いに受け、私自身も高校時代にとった点数以来の厳しい結果（74/100と77/100）となりました。共通テストの数学は解法が簡単に導出できないモノばかりで、「基本の解法を身につけたうえで、それを上手に活用していく力」が必要となりそうです。

このままでは終われません。このリベンジは来年必ず果たします！

1年次主任 平岩岳実

保護者の皆様へ

先日の三者懇談ではお忙しい中また寒い中をご来校くださりありがとうございました。御家庭での様子や普通の学校生活、来年度の履修科目を主な話題にさせていただき、有意義な時間を持つことができました。懇談でいただいたご意見は校内で情報共有し、今後の学校運営に生かしていきたいと思っております。

～2月行事予定～ コロナ対策は決して怠らない！！

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	火		家庭学習日 前期募集選抜検査	16	水	A	
2	水		家庭学習日 前期募集選抜検査	17	木	A	
3	木	A		18	金	A	
4	金	A		19	土		
5	土		土曜講座(オンライン)	20	日		
6	日			21	月	行	第4回定期試験
7	月	B	きずなの日 短縮55分授業	22	火	行	第4回定期試験
8	火	B	短縮50分授業	23	水		天皇誕生日
9	水	B		24	木	行	第4回定期試験
10	木	B	福岡先生講演会 AM短縮60分授業	25	金	行	第4回定期試験 大掃除
11	金		建国記念の日	26	土		
12	土			27	日		
13	日			28	月	行	表彰式 卒業式予行 同窓会入会式
14	月	A	きずなの日 第4回定期試験時間割発表	1	火	行	第74回卒業証書授与式
15	火	A		2	水	B	高校入試会場準備 短縮45分授業

◎先生方からの寄稿 今月は4組の担任 細野ゆかり先生、副担任 根津真一先生です。

未来に向かって

細野 ゆかり

「大寒」を過ぎ、少しずつ日が長くなってきて、季節の移ろいを感じます。1月の模試を経て、一年間のまとめの時期に分散登校となってしまいましたが、場所は違っても学ぶことは同じです。それぞれの教科・分野の「やるべきこと」を慌てずの一つひとつ計画的に進めて、最終回の第4回定期試験に向かって勉強を進めていきましょう。

ところで、みなさんは富士山に登ったことはありますか？ 私は令和元年の8月、小学生の2人の子どもたちと1泊2日で登ってきました。登山ガイドを読んで少しずつ準備し、子どもたちは7月に大菩薩嶺に登って「練習」しました。1日目、八合目の予約していた山小屋まで予定より約2時間多くかかって無事に到着し宿泊。2日目は青空の下、休憩を多めにとりながら進んで吉田口山頂の久須志神社に参拝できた時には、感動と感謝でいっぱいでした。お鉢巡りは見送って、ザクザクと音を立てて土煙をあげながら五合目に着いた時には、心の底からほっとしました。

登山道から8月の残雪を見て「時知らぬ山」を思ったり、高さ5cmに満たない草花を見て逞しさを感じたりと、実際に登ってみたからわかったことが多く、近くて遠かった富士山をやっと知ることができたように思いました。山小屋で見た登山道の夜中の行列も、チップ製の再利用水式のトイレも、500ml入りの水や清涼飲料が九合目からの山小屋では500円で売っているのも、聞いてはいましたが、まさに「百聞は一見に如かず」でした。



大学生になって好きな分野の研究に没頭したり、まとまった時間に国内外を訪れてみたり、そんな未来の自分を思い浮かべて今を過ごしてほしいです。新たなステージに立つには入試という関門があります。一人で立ち向かうのは勇気が要ります。みなさんそれぞれのめざすべきステージに向かって、その「関門」を突破できるよう、共に頑張りましょう！

あけましておめでとうございます

根津 真一

A Happy New Year. 元旦の寄稿を求められ困惑した夏目漱石は、「元旦の紙上にあらわれる以上は、いくら元旦らしい顔をしたって、元旦の作でないに極(きま)ってる」と楽屋ネタを使ったそうです。そこで私は逆をいきます。元旦に「元旦らしい顔」でしたためることとしました。

ということで元旦の新聞をめくり2022年に相応しいテーマ、を探す前に将棋オタク(いわゆる「観る将」)の私はまず将棋・永瀬拓矢王座の新春インタビューを見ます。今月16日には藤井聡太竜王から「大金星」。101手目8八歩は永瀬流「負けない将棋」全開で思わず声が出ました。

いきなり話がそれました。閑話休題。さてさて元旦に相応しいネタを探しますが、悲しいかな明るい話題がありません。コロナそのものも問題ですが、コロナが浮き彫りにした日本社会の「危機」はとても根深いです。1面コラムは「現実を見据えたいものである」と綴ります。

第2部を手に取り、やっという話題を見つけました。今年から始まるラグビートップリーグの話題です。2019年のワールドカップ以来、テレビでラグビーを観戦するようになりました。ちなみにルールは未だによく分かっていません。ラグビーの良いところは、ラグビーワールドカップのテーマ曲「world in union」に表される精神だと思っています。「If I win lose or draw It's a victory for all」勝敗に関わらず全ての人を受け入れリスペクトし、「It's the world in union The world as one」世界は1つであると高らかに歌う。

「分断」。これは今のアメリカ社会を象徴する言葉です。トランプ前政権以来のアメリカ社会の分断は、多くの人が憂いているにもかかわらず解決する道筋すら曖昧です。「対立」。最近ではウクライナや台湾が浮かぶでしょう。そしてコロナや国家間の対立だけでなく、世界では「貧富の格差」という対立軸も大きな問題となっています。

先日世界史でチェ・ゲバラのビデオを見ました。彼の理想「新しい人間(オンブレ・ヌエボ)」はとても反響がよかったです。「現実」を見据えることはもちろん大切です。そのうえで、「理想」を見失わないようにしたい。先日職員室奥の日めくりカレンダーを眺めていたら素晴らしい言葉に出会いました。「年を重ねただけで人は老いない 理想を失う時に初めて老いが来る(サミュエル・ウルマン)」。胸に刻みたいと思います。

好き勝手に書いていたら紙面もなくなってきました。「world in union」にいかにも「元旦らしい」一節がありますので、結びとしたいと思います。「As we climb to reach our destiny A new age has begun」。今年が皆さんにとって、そして誰にとっても良い年になりますように！